

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	市貝町芝ざくらまつり
事業主体の名称	芝ざくらまつり開催実行委員会
代表者の名称	実行委員長 入野正明
事業主体の所在	〒321-3493 芳賀郡市貝町大字市塙1280
事業主体の概要	団体の目的: 芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会(芝ざくら公園指定管理者)と共同し、うるおいとやすらぎのある快適な地域環境の形成と地域活性化を図るために開催する芝ざくら祭りを円滑に運営することを目的とする。 設立年月日:平成24年10月11日 構成団体:市貝町、芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会、市貝町商工会、市貝町観光協会、全7団体
当該事業に係る地域の現状と課題	市貝町芝ざくらまつりは平成18年よりはじまり、今年度で13回目を迎えた。市貝町最大のイベントとして最盛期は30万人以上の来場があったが、現在は18万人程度の来場にとどまっており、地域の活力が弱くなっている。芝ざくら公園は、本町最大の観光資源であるので、国内からの観光客をはじめ、近年多くみられる台湾からの観光客をリピーターを確保していくことが課題である。また、本年は栃木デスティネーションキャンペーンもあるので、これを活用し新規顧客の確保により一層力を入れていきたい。
事業目的	ホームページやマスコミ、チラシ、ポスター等の広報活動やPRを行い、市貝町が日本有数の「芝ざくら公園」がある魅力的な花の町として、知名度の向上やイメージアップを図り、観光客の増加による経済効果の拡大で観光分野に留まらない地域の活性化を目指す。
事業概要	芳那の水晶湖ふれあいの郷協議会(芝ざくら公園指定管理者)と協働し、うるおいとやすらぎのある快適な地域環境の形成と地域活性化を図るため、「第13回市貝町芝ざくらまつり」及び芝ざくら公園の適切な維持管理を行った。 ①町内商店等の模擬店の出店 ②町内文化協会団体等ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④JR東日本や真岡鉄道と連携した観光ツアーの実施 ⑤植栽作業など近隣大学や近隣高校と連携した公園の維持管理 ⑥栃木デスティネーションキャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等(とちまるショップやJRの駅等の首都圏で開催されるイベントへの参加や新聞広告の掲載、旅行会社等へ情報提供を行い観光客増加を図った。) 【平成30年2月、3月にPR活動を実施】 ○次年度以降も芝ざくらまつり等を開催し、魅力ある町としてのPR、地域活性化に努める。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光入込客数の増加・交流促進を目指すことを目標とする。 観光入込客数:平成26年 484,898人→平成31年 650,000人【平成29年度実績:205,000人】 (本事業における数値目標 平成28年度 182,000人→平成31年度 200,000人)【平成30年度実績:176,000人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④JR東日本等と連携した観光ツアーの実施 ⑤近隣大学や近隣高校と連携した公園の維持管理 ⑥観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④JR東日本等と連携した観光ツアーの実施 ⑤近隣大学や近隣高校と連携した公園の維持管理 ⑥観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等	市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④JR東日本等と連携した観光ツアーの実施 ⑤近隣大学や近隣高校と連携した公園の維持管理 ⑥観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等		市貝町芝ざくらまつり等 ①模擬店の出店 ②ステージイベントの実施 ③写真コンテストの実施 ④JR東日本等と連携した観光ツアーの実施 ⑤近隣大学や近隣高校と連携した公園の維持管理 ⑥観光キャンペーンでのPR活動やメディアへの広告宣伝等
事業費	1,497,407	761,137	633,453		500,000
市町支支出金(ソフト事業分)	1,400,000	400,000	300,000	2,100,000	300,000
うち県交付金	561,000	200,000	150,000	911,000	
市町支支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	97,407	361,137	333,453	791,997	0

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	企画振興課 地域振興係
担当者名	柳田桂佑
電話	0285-68-1118
FAX	0285-68-3227
E-mail	yanaida02@town.ichikai.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	芝ざくらまつり	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	300,000	市貝町より
繰越金	333,450	前年度繰越金
雑収入	3	預金利子等
計	633,453	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	1,582	0	0	1,582	消耗品
報償費	276,510	240,000	120,000	36,510	写真コンテスト賞品 ノベルティ代等
使用料及び賃借料	10,000	0	0	10,000	案内看板借地料
広告料	225,600	50,000	25,000	175,600	広告宣伝費等
備品購入費	39,890	0	0	39,890	
通信運搬費	18,245	10,000	5,000	8,245	賞品送料等
食糧費	4,712	0	0	4,712	会議賄等
次年度繰越金	56,914	0	0	56,914	
計	633,453	300,000	150,000	333,453	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	市貝町町民祭
事業主体の名称	市貝町町民祭運営協議会
代表者の名称	会長 入野正明
事業主体の所在	〒321-3493 芳賀郡市貝町大字市塙1280番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:市貝町の産業、教育、文化の祭典として、個性豊かな地域づくりの推進のため、総合的なイベントを開催する。</p> <p>・設立年月日:昭和56年11月2日</p> <p>・構成員等:市貝町、市貝町議会、はが野農業協同組合、市貝町商工会等 全12団体</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	毎年、町内で活動している団体が集まり、町内外から多くの来場者があり、各団体それぞれの活動PRや特産品・農産物等の販売等を行っており、町の魅力を発信できる絶好の機会となっているが、効果的な発信ができておらず、顧客の獲得につなげていない。また、平成26年4月にオープンした道の駅との連携を効果的にできていない。
事業目的	町民や周辺住民の交流の場としての活用、特産品等の展示販売を通じふるさとへの理解や郷土愛の醸成を図り、また、展示販売体験等のさまざまなイベントをおとして、「町の再発見」により新たな市貝ファンの獲得を目指し、新たなひとの流れを構築することによる経済効果によって地域の活性化を図る。観光交流拠点である道の駅との連携強化により、それぞれの来場者の増加の相乗効果を目指す。
事業概要	<p>イベントを通じて地域の活性化と一体感の醸成を図るとともに、町内の特産品等の魅力を効果的にPRするため、以下のとおり「平成30年度市貝町町民祭」を開催した。</p> <p>実施日:11月18日(日)</p> <p>①市貝地区JAまつり:生活資材・農機具小物等の販売、JA食堂(天ぷらうどん・そばの販売)、フリーマーケット、餅つき実演等</p> <p>②商工会コーナー:陶器、パン、焼きそば等の販売、リフォーム相談等</p> <p>③酪農組合コーナー:牛乳・飲むヨーグルトの試飲、手作りバター体験、堆肥の無料配布等</p> <p>④地産地消コーナー:豚汁、さつまスティック、牛の焼肉販売等</p> <p>⑤その他コーナー:ミニ上棟式、年賀はがき・切手販売、木炭関係PR、箕づくり実演、電気に関するPR、健康づくり・介護保険、PR、自衛隊PR、交通安全・消防PR、日本赤十字PR、サンバPRコーナー、宮古島市コーナー等</p> <p>道の駅とのスタンプラリーを実施し、相互の来場者増加、町のPRを行った。</p> <p>○次年度以降も市貝町町民祭を開催し、町のイメージアップ、地域活性化を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>郷土愛が醸成されふるさと納税額の増加及びサッチャんの「ゆるキャラグランプリ」の順位向上</p> <p>ふるさと納税額:平成26年度 71,930円 → 平成31年度 10,000,000円【平成29年度実績:6,340,000円】</p> <p>「ゆるキャラグランプリ」の順位向上:平成26年度 468位 平成31年度 100位以内【平成30年度実績:30位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー	市貝町町民祭 ①市貝地区JAまつり ②商工会コーナー ③酪農組合コーナー ④地産地消コーナー ⑤その他コーナー		
事業費	1,176,709	1,913,814	1,751,345	4,841,868	1,700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,100,000	1,800,000	1,600,000	4,500,000	1,600,000
うち県交付金	450,000	805,000	780,000	2,035,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	76,709	113,814	151,345	341,868	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画振興課 地域振興係
担当者名	柳田桂佑
電話	0285-68-1118
連絡先 FAX	0285-68-3227
E-mail	yanagida02@town.ichikai.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	市貝町町民祭	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	1,600,000	市貝町より
雑収入	20,001	預金利子、露店商からの清掃代
繰越金	131,344	前年度繰越金
計	1,751,345	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	20,300	20,000	10,000	300	イベント用消耗品費等
委託料	145,800	145,000	72,500	800	仮設トイレ設置委託 108,000円 花火 37,800円等
報償費	485,000	483,000	241,500	2,000	協力者謝金等(23団体)
手数料	6,000	5,000	2,500	1,000	汲取り手数料
使用料及び賃借料	907,200	907,000	453,500	200	テント、机、イス借上料
食糧費	139,920	20,000	0	119,920	会議の折 お茶代等
次年度繰越金	47,125	20,000	0	27,125	
計	1,751,345	1,600,000	780,000	151,345	

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	観音山梅の里梅園梅まつり
事業主体の名称	観音山梅の里づくり協議会
代表者の名称	会長 川上豊
事業主体の所在	〒321-3423 芳賀郡市貝町大字市塙3833番地2
事業主体の概要	団体の目的:市貝町の地域活性化を図る梅の里づくりの推進を目的とする。 設立年月日:平成2年4月 構成員:地元(駒込、村上地区)住民
当該事業に係る地域の現状と課題	毎年3月に花見のイベントとして梅まつりを開催し、梅の花の観賞、カラオケ大会、露店、野菜の販売等多くの催しが行われ大勢の観光客や梅オーナーとその家族等で賑わっている。最大の資源である「梅」のPRや、農作業等地域に魅力の発見等貴重な体験ができる等メリットのあるオーナーの獲得の絶好の機会であるが、イベントに注力しているためにオーナー獲得に向けた取り組みができていない。
事業目的	イベントを通じた地域活性化及び新規オーナーを獲得、収穫の喜びや地域の魅力の発見や定住につながる可能性のある都市と農村の交流促進を図る。
事業概要	【H30年度】 イベントを通じた地域活性化及び新規オーナー獲得を図るため、下記のとおり「観音山梅の里梅園梅まつり」を開催した。町ホームページによる情報発信、観光イベント関連サイトや新聞社に情報提供、チラシの作成・配布によるPRを行い来場者増を図った。 実施日:3月23日(土) 【催し内容】 ・セレモニー ・歌謡ショー・町文化協会発表 ・ゆるキャラショー (サンバのサッチャン) ・その他 模擬店等の出店 【H31年度】 前年実施内容の検証、改善を行いながら、地域活性化を図るため観音山梅の里梅園梅まつりを開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標2:魅力発信による観光・交流の促進 観光入込客数:平成26年 484,898人→平成31年 650,000人 (平成27年度 600人→平成31年度 800人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①セレモニー ②歌謡ショー・生演奏他 ③ゆるキャラショー (サンバのサッチャン他) ④カラオケ大会 ⑤・その他 模擬店等の出店	①セレモニー ②歌謡ショー・生演奏他 ③ゆるキャラショー (サンバのサッチャン他) ④カラオケ大会 ⑤その他 模擬店等の出店	①セレモニー ②歌謡ショー・生演奏他 ③ゆるキャラショー (サンバのサッチャン他) ④アイドルショー ⑤その他 模擬店等の出店		①セレモニー ②歌謡ショー・生演奏他 ③ゆるキャラショー (サンバのサッチャン他) ④カラオケ大会 ⑤・その他 模擬店等の出店
事業費	1,018,116	1,039,548	1,040,318	3,097,982	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	518,116	539,548	540,318	1,597,982	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画振興課 地域振興係
担当者名	柳田桂佑
電話	0285-68-1118
FAX	0285-68-3227
E-mail	yanagida02@town.ichikai.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	観音山梅の里梅園梅まつり	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	500,000	市貝町より
繰越金	378,318	前年度繰越金
雑収入	162,000	祝金等
計	1,040,318	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	245,885	200,000	100,000	45,885	おもてなし用消耗品
報償費	198,776	160,000	80,000	38,776	出演者謝金等 120,000円 記念品代 70,000円等
使用料及び賃借料	33,000	30,000	15,000	3,000	LPガス等借上料
委託料	113,000	110,000	55,000	3,000	音響設置委託100,000円 花火打上委託 30,000円等
通信運搬費	0	0	0	0	郵送料等
食糧費	20,978	0	0	20,978	会議の折お茶代等
次年度繰越金	428,679	0	0	428,679	
計	1,040,318	500,000	250,000	540,318	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	市貝町
事業名	道の駅サシバの里いちかい夏休みイベント事業
事業主体の名称	道の駅サシバの里いちかい出店者振興組合
代表者の名称	会長 藤平 陽一
事業主体の所在	〒321-3423 芳賀郡市貝町大字市塙1270番地
事業主体の概要	団体の目的:道の駅サシバの里いちかいに出店する店舗の連絡調整を図るとともに、施設利用者に対するサービスの向上、各施設の販売促進、来場客数の増加を目的とする。 設立年月日:平成27年4月7日 構成員等:道の駅出店者(全7店舗)
当該事業に係る地域の現状と課題	当町は、サシバの住む豊かな自然環境を生かしつつ、観光交流や定住促進に繋げるため、「サシバの里」づくりを推進している。 中でも「道の駅サシバの里いちかい」は地場産品等の直売所や町観光協会と連携した観光拠点として、更なる機能強化が求められている。 しかし、開設より4年が経過し、道の駅全体の売上額は増加しているが、来客数は微増程度にとどまっていることが課題となっている。
事業目的	夏恒例の賑わいイベントとして定着することにより、町特産品や本イベントを目標としてリピーターが確保され、道の駅の認知度が向上する。また、町内外の方々に対して市貝町の魅力を発信する観光拠点としての効果が拡大することにより、町全体の観光交流が拡大するとともに、町民が集まる場としてまちの賑わいが創出される。
事業概要	夏休みシーズンに合わせ集客を目的とした七夕まつり・夏まつりイベントを開催した。また、お盆には、帰省中の方も対象とした「いってみっぺ夜まつり」を初開催した。町内だけでなく他町・他県からの交流人口が増加するとともに、町民が集まるイベントとしてまちの賑わいを創出した。 【平成30年度】 ○開催概要 ・開催日:7月7・14・15・16(七夕まつりイベント)7月22・29日8月11・12・13・18・25日(夏まつりイベント) ・催し内容:市貝町特産品の直売、縁日、パフォーマンス(太鼓演奏、コンサート等)、カブト虫&クワガタ展、メダカ・金魚すくい ・PR方法:チラシ配布(芳賀郡、宇都宮市内ほか) ○次年度以降も、前年度の内容を踏襲しつつ、夏休みで増加が予想される子ども連れの来場者向けの新しい催しを盛り込んだイベントを開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】基本目標2 魅力発信による観光・交流の促進 【KPI】道の駅来客数 基準値(平成26年) 225,000人 目標値(平成31年) 300,000人【平成29年度実績 299,294人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①夏休みシーズンに合わせた、道の駅夏祭りイベントを開催	①夏休みシーズンに合わせた、道の駅夏祭りイベントを開催	①前年度の実績の検証 ②検証結果を踏まえたイベントの開催		①自立した夏祭りイベントの開催 ②以後のイベントの継続
事業費	1,311,265	1,336,236	1,314,654	3,962,155	1,300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,305,000	1,300,000	1,300,000	3,905,000	650,000
うち県交付金	652,000	650,000	650,000	1,952,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6,265	36,236	14,654	57,155	650,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市貝町役場企画振興課地域振興係道の駅担当
担当者名	北沢 繁誉
電話	0285-68-1110
FAX	0285-68-3227
E-mail	kitazawa01@town.ichikai.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支精算書)

市町名	市貝町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	道の駅サシバの里いちかい夏休みイベント事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市貝町補助金	1,300,000	市貝町より
出店者振興組合負担金	14,654	出店者振興組合より
計	1,314,654	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	329,000	323,000	161,500	6,000	一部イベント委託料 (会場設営、出演者手配等)
手数料	5,974	5,000	2,500	974	振り込み手数料・代引き手数料 料・配送料
印刷製本費	58,320	58,000	29,000	320	のぼり旗印刷費
消耗品	256,120	254,000	127,000	2,120	イベント用プリンター、ミニ プール、イルミネーション他
報償費	585,240	580,000	290,000	5,240	イベント出演者謝礼、 抽選会商品代
負担金、補助及び交付金	80,000	80,000	40,000	0	市貝夏祭り、原っぱシアター 出店費
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,314,654	1,300,000	650,000	14,654	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合